

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンポール中野504号  
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
http://www.nihonkouren.jp

発行：隔月1回  
2018年3月1日  
No.329



老人医療費有料化35年いのちと健康を守るために何をなすべきか  
「2.1高齢者中央集会」＝衆議院第一議員会館（記事P2）

## 1月19日 厚生労働省交渉に56人参加 年末座り込み時提出14項目要望に対する誠意のない回答に怒りの声 日本高齢期運動連絡会/東京都老後保障推進協会

日本高齢期運動連絡会と東京都老後保障推進協会は、1月19日、衆議院第2議員会館で2018年度高齢者予算案について厚生労働省と交渉し、年金者組合の皆さんはじめ56人が参加しました。厚労省には昨年12月13日の年末座り込み行動の際に14項目の要求書を提出しましたが、この回答を聞き、更なる要望を行う場として設定されたもので、多くの参加者を集めて行うものとしては初めての取り組みとなりました。

厚労省の回答は担当部署の職員による口頭での回答で、後期高齢者医療制度の廃止の要望に対しては、同制度が社会に定着し安定的な運用がされていると回答。参加者から、「安定しているというが年金収入が減り高齢で医療費が増える中でこの制度の保険料は重い負担だ」「保険料を払えず病院に行きたくてもいけない高齢者が増えている。もっと国民の立場に立って考えてほしい」といった声が相次ぎました。



後期高齢者医療保険料の特例軽減措置の廃止については、「負担の公平という理由はおかしい、生活が厳しい層が増える構造だ」「一片の通知で値上げが行われた」（千葉）と抗議が上がりました。

東京の代表は街頭相談会で「今の年金では今の家に住んでいられない」「公園で首をつりたい」等多くの高齢者が不安や死を口にしてしていると紹介。そのうえ介護保険料が開始時から二倍近くになっているとして「老後の安心は全くない。高齢者のくらしの問題は一分一秒を争っている」と強調しました。年金者組合の代表からは、年金の毎月支給要



望に対して「システム変更にかかる」という回答が長年続いているが毎月支給していないのは日本だけだと訴え、また年金積立金運用法人であるGPIFの積み立ては庶民にまわすべきだと強く要望がありました。最後に都老協の城田会長が「国民の生活実態を把握ししっかり受け止めてほしい」と訴えました。

なおこの交渉には、小池晃参議院議員（日本共産党書記局長）が冒頭であいさつされ、宮本徹衆議院議員、倉林明子参議院議員も参加されました。

## 老人医療費有料化35年 いのちと健康を守るために何をなすべきか 「2・1高齢者中央集会」に116人＝近年では最高の参加 日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会主催、日本高齢期運動サポートセンター後援で、2月1日午後、衆議院第一議員会館において「2・1高齢者中央集会」＝「老人医療費有料化35年・いのちと健康を守るために何をなすべきか」が開催されました。1983年、老人医療費無料化が廃止され、有料化が強行された2月1日。それ以降この日に毎年開催し、36回目の今年は7都県から116人が参加しました。

司会：日本高連事務局次長 田中諭さん（全日本年金者組合書記長）  
日高連代表委員松本弘道さん（医療福祉生協連常務理事）が「高齢者に優しい制度・仕組みは若い世代もいずれ必ず通る道を優しくす

ることになる。世代間の問題とせず一生のうち医療費負担をどのように見ていくのか国民全員の問題として考える必要がある。高齢者が主体者として多世代とともに、国にきちんとさせていく議論をし、自らと地域と国を健康にしていきましょう。」と開会あいさつしました。

### ■前沢淑子中央社保協事務局次長の講演

「2018年医療介護はどうなる？老人医療無料化から45年、今こそ大きな共同を！」

この中では

○「社会保障制度の充実は、すべての国民が人間らしく生きる憲法25条の実践」として、戦後の社会保障の歴史を概観しながら、



○2013年から年間1兆～8000億円の社会保障費の「自然増を」圧縮し、5000億円程度にしていること

○あらゆる世代にさらに負担増が続き、2017年度は延べ1500万人以上が負担増の影響を受けることが詳しく紹介され、

○声を上げよう、つながろう、「社会保障総がかり」を展望して、安倍政治の憲法9条改定を阻止し、25条を守ろう

○今こそ高齢期運動の出番、暮らしの年金、医療、介護、福祉で地域住民と結びついている強みを活かして と訴えられました。

■日の出町折田町議会議員の特別発言

続いて、東京都日の出町の折田真知子さんから日の出町の後期高齢者医療費無料制度の特別発言があり、



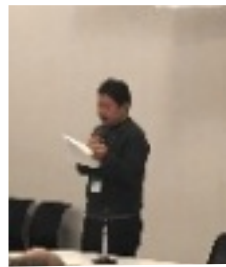
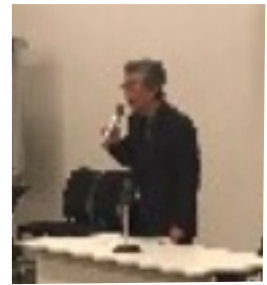
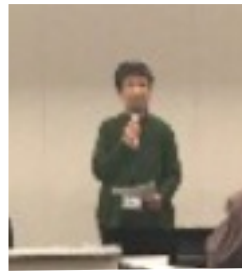
○2009年から始まった75歳以上の医療費補助は1人当たり年間4万3千円で総額7800万円、町の年間決算額の約1%で推移していて、充分制度維持ができる額、これにより医療費が増えていない。

○70～74歳も2015年から月額医療費2000円以上を助成していて、住民健診の受診を必要条件としている。

○その他高齢者外出支援バス、100円で温泉センター利用、18歳以下の医療費無料制度等全世代への福祉施策の充実を行っている。

○自治体の大小ではない。税金の使い方の問題。住民が喜ぶこの制度によって自治体職員

も喜びになっている。  
と話されました。



この後以下のような地域・団体からの発言がありました。

(八王子) 国保料の引き下げ要求運動。

(北区) 王子駅でのなんでも相談会で、厳しい実態が寄せられている。

(建交労) 高齢者の就労問題。生活困窮者就労支援を要求

(全生連) 生活保護基準引き下げに抗議し撤回を求める

(年金者組合) 最低保障年金や毎月の年金支給を要求。

最後に藤谷日高連事務局長が 「実態を出し合おう」「自治体を変えよう」「安倍ノーの声を上げよう」と3つの行動提起をし閉会の挨拶を行いました。

参加者からは、「大変良い話だった」「税金の使い方を変えさせなければ」と感想が出され、200部用意した資料集がなくなるほどでした。



# 第31回日本高齢者大会in沖縄・中央実行委員会第3回総会 第32回日本高齢者大会in熱海・中央実行委員会第1回総会

## 日本高齢者大会中央実行委員会

### 議事録

1、日時 2017年2月19日（月）午後1時30分～4時15分

2、場所 衆議院第一議員会館第一会議室

3、参加者 15都府県 5中央団体 26名

### 4、議事

#### (1) 開会あいさつ・議長選出

午後1時30分定刻に、大河原貞人事務局次長（神奈川県高連）が開会あいさつを行い、沖縄大会取り組みへの謝意と、2/1集会での日の出町の高齢者医療無料制度の報告の紹介があり、最後に本総会が熱海大会成功への意思統一の場であると述べました。議長について田中英男事務局次長（茨城県高連）を提案し、満場の拍手で確認しました。

#### (2) 代表委員あいさつ

金子民夫代表委員（全日本年金者組合委員長）が国会情勢に触れながら、憲法9条改憲反対の300万署名を強めようと訴えました。



知念毅・沖縄実行委員会事務局長

#### (3) 第31回日本高齢者大会in沖縄・中央実行委員会第3回総会議案提案

知念毅沖縄実行委員会事務局長が第31回日本高齢者大会in沖縄・沖縄県実行委員会の総括案について提案、続いて、中山晴夫中央実行委員会事務局長が同・中央実行委員会の総括案と決算について提案しました。

#### (4) 質疑・討論

質問を含めて以下の9名が発言しました。

①香川 中止の判断をもう少し早く出せなかったか。香川県は徳島県と共に27日に行った。勉強になった。

②神奈川 基地問題の学習行いながら100人の参加組織。

③新潟 22人でオリジナル沖縄ツアーを行った。沖縄との交流ではげまされた。行って良かった。沖縄でやってほしい。

④埼玉 9月に鐘ヶ江さんを講師に結団式を行うなど積極的に取り組んできたが残念だった。

⑤東京 東京の次は沖縄だと受け止めが良く、予想上回る300人の参加。中止連絡は大変だった。近い将来沖縄で開催を

⑥静岡 32人参加予定で、5人は先に行ってしまった。沖縄リベンジ大会やってほしい。1月にせんべいを販売し150袋3万円の利益あった。

⑦千葉 東京を除いては過去最高の参加人数だった。キャンセル料は飛行機代以外で30%。1500円は県高連で負担した。

⑧群馬 新垣潔さん呼んで学習会やった。身近に沖縄を感じた一年だった。

⑨長野 40人目標で70人の参加組織だった。中止となったが前向きにどう力にしていけるか課題。

(5) 討論のまとめ 知念、中山事務局長から討論を受けて、中止決定については、講座分科会だけでもできないかと最後まで検討したこと、断腸の思いで中止決定を行ったことが述べられ、沖縄の思いを熱海大会でも引き継いでいくこと、沖縄大会の取り組みを今後にかかしていくことが訴えられました。

(6) 議案採択・第31回日本高齢者大会in沖縄・中央実行委員会の解散

満場一致で二つの議案を採択し、第32回日本高齢者大会 in 沖縄・中央実行委員会の解散を決定しました。



(7) 第32回日本高齢者大会 in 熱海・中央実行委員会第1回総会議案提案

休憩後、武市和彦日本高齢期運動連絡会事務局次長が第32回日本高齢者大会 in 熱海・中央実行委員会方針案と予算案について提案しました。

(8) 質疑・討論

①香川 前泊が土曜日になるので、日月開催は避けてほしい。土日開催の理由は。

②静岡 前回熱海大会は水・木だった。静岡は6/2県大会 2回やるつもりで頑張る。

延べ150人目標。

③神奈川 300人(延べ600人)目標で取り組む。今年の神奈川のつどいは中止。

後期高齢者医療不服申請116人・75歳以上2割化等5~6月に学習決起のつどい。運動つくりながら熱海大会に結集していく。11/13つどい530人。

④埼玉 11/28つどい300人。熱海は延べ150人目標。300は厳しい。認知症予防体操等の分科会づくりに参加したい。

⑤千葉 東京大会は延べ136人だった。

⑥東京 延べ800人目標で取り組む。3/1に総会。講座分科会ではトランプ問題等国际問題も取り上げてほしい。

⑦民医連 共同組織交流集会を9/10~11に横浜で開催。

⑧新婦人 若い世代の参加を考えると平日より土日が良い。新婦人しんぶんの医療・介護改悪に反対する記事の紹介。

2019年第33回日本高齢者大会は福島県で開催

中央実行委員会総会では、最後に福島県高連の橋本事務局長が発言し、2月6日の幹事会で、第33回日本高齢者大会を福島県で開催することを決定したことが報告されました。日本高齢期運動連絡会の要請を受けて、県高連が論議を重ね、今回積極的に受諾していただいたものです。開催時期は今のところ9月を予定しており、会場探し等に入っています。来年は東日本大震災8年目となります。福島の方々の決意に応じて、日本高齢期運動連絡会と中央実行委員会も全力で応援する決意です。今年の第32回熱海大会を成功させ、福島につなげていきましょう。



根本さん(神奈川県)



秋元さん(千葉県)



高野さん(群馬県)



橋本さん(福島県)

(9) 討論のまとめ

武市中央実行委員会事務局次長が質問への回答とまとめを行いました。

(10) 閉会あいさつ

最後に田中諭事務局次長(全日本年金者組合書記長)より大会成功へ向けての奮闘を訴える挨拶があり、午後4時15分に閉会しました。

# 日の出町はすごかった！

東京 杉並社保協・東京西部保健生協

2月22日（木）、杉並社保協では老人医療を無料化している西多摩・日の出町を見学しました。

その結果を報告します。

「老人医療無料制度は小さな町でも実現できる。町財政の1%で75歳以上の無料化、0.3%で70～74歳の医療費助成（2,000円を超えれば全額助成）も可能。早期発見・早期治療、保健予防、健康づくりをしっかりと追求していけば無料化しても健康になり、自治体の負担する医療費も減る！町民は健康になり、みんなに喜ばれる。高齢者だけでなく若者、子ども施策も充実し、人口は増えている。財政力のある杉並で実現できないわけがない！」  
要は…住民の、行政の「やる気」が問われている。・・・これが結論



**見学の参加者**／杉並社保協1名、東京西部保健生協7人、東京土建杉並支部3人、年金者組合2人、東京高齢期運動連絡会1人、日本高齢期運動サポートセンター1人、個人2人  
**学んだこと**

**事実**／老人医療無料化を導入しても自治体の負担は増えない。町の税収のわずか1%しか使わずに75歳以上の高齢者の無料化は実現できている。0.3%だけで70～74歳の月2,000円上限とする医療費減額ができています。18歳から75歳のがん患者の医療費無料化を実施している。きわめて好評。こんな「小さな、財政力の弱い自治体でも実現できる」のに多くの自治体でなぜ取り組まないのか不思議

議とのこと。勇気とその気があれば具体化できる。はじめから諦める心が社会保障の後退をゆるしていると感じ、大いに反省しました。

・「自分たちは日の出町だけがよくなればよいとは思っていない。高齢者、住民がよりよい福祉を享受できるようになることを望んでいます。求められればどこにでも行き、経験を語ります。」

元町議の野口さんはゆっくりと、力強く語ってくれました。

・高齢者だけでなく、若者や子供へのとりくみが世代間公平という名の世代間分断攻撃に対応できる力の源泉は、若者に対する施策も自治体で充実のために努力し、世代間の分断を許さない状況を作っているから。もと自民党だった町長も沢内村から学んで「日本一福祉のまちづくり」に大きく前進。

・日の出町は議員が長きにわたり町長に働きかけ、町民本位の行政を実現するために努力してきた。

・町民にやさしい町政を遂行するなかで町職員もやりがいを持って仕事にとりくんでいる。

・日本一の福祉のまちを目指す中で保守派は町長への対立候補を立てにくくなってきた。

・若者の転入が続いている。若者、子育て層にやさしいとりくみが人口を増やし、税収をふやしている。

・4台の町の外出支援バスが高齢者の移動の自由、権利を支えている。無料で利用できる。月～金の9時から夕方5時で60歳以上の在宅の町民は4系統で巡回するバスに手をあげればどこでも乗り降りできる。町役場や主な施設に停車し、年間4万8千人以上が利用し、喜ばれている。

・このような町の制度を実現する上で、西多摩社保協や健康友の会などが大きな役割を果たしている。実情を調べ町や町長に知らせ、様々な施策の改善を続けている。

・友の会では週1回、14人のボランティア

で55食の「夕食宅配」を続けています。食器の回収も行い、暮らしを支え、身守りも行っています。

・自治体の長が「その気」になれば、実現できることが分かった。住民の求める福祉、事業を実現するために努力する区長、首長を選べばいい。住民が賢くなり、あきらめずに努力することが必要。

感想／老人医療の無料化は住民がその気になれば実現できる。個人の負担も減るし、自治体の医療費支出も減らせる。早期発見早期治療、保健予防のとりくみ強化があれば。実施している自治体がある。

・なぜやらないのか、やらせないのか、要求しないのか。福祉バラマキという攻撃に対抗しきれなかったのか。福祉を積み上げてきた北欧諸国とは大きく差がついていると思われる。

・改めて自治とは何か、健康にくらすために住民自身のとりくみ、努力が必要なこと、同時にがんばれば実現できること、自治体は住民のいのちと暮らしをまもるために存在することを学んだ元気の出る視察だった。

終わりに／ありがとう日の出町。名前だけでなく、将来のまちづくりの方向を示している

日の出町の実践。やるか、やらないかは私たちが「その気」になるかどうか。いま試されています。

#### 日の出町の主な高齢者施策

- ・高齢者医療助成制度（75歳以上）
- ・・・・老人医療無料制度
- ・元気で健康に長生き医療費助成制度（70歳～74歳）  
1カ月2,000円を超えた部分を助成
- ・健康教室を開催し、高齢者のスポーツを支援し、健康管理・健康増進を図る
- ・高齢者外出支援バス（無料）を運行。4系統を走り、どこでも乗車、降車できる。
- ・がんの医療費全額助成（18歳～75歳）

（杉並社保協ニュース 2018022

「日の出町を見に行こう」報告①より）

#### 日の出町発！長寿化対策

#### 「日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言」

永年にわたるお年寄りの数々のなごみ力・ご努力に感謝するとともに、ますますご健勝でお暮らしいただくため、日の出町は、本日のお老の日に当たり、日本一お年寄りにやさしい町づくりを推進することを宣言し、全国の市区町村に先駆けて、平成二十二年四月から次の施策を実施します。

1. 七十五歳以上の方が負担する医療費を無料にします。
2. 七十五歳になる方が受ける人間ドック受診料を無料にします。
3. 健康教室を開催し、お年寄り向けスポーツを支援するなど、健康管理・健康増進を図ります。

誰もが平和で安心して暮らせる社会をめざす加盟団体との共同をつよめ運動を広げてこう

## 2・22 第21回神奈川県高齢期運動連絡会総会 第32回「日本高齢者大会in熱海」を成功させましょう。

### 神奈川県高齢期運動連絡会

神奈川県高齢期運動連絡会は2月22日、第21回総会を16団体37人の参加で開催し、活発な議論を行い今年度の運動方針と役員を決定しました。

総会では、

- ①3000万署名推進と平和憲法を守ろう
- ②第32回日本高齢者大会in熱海（11月25日～26日）に、参加者（実数）200人～300人責任持って組織しよう
- ③後期高齢者医療制度の廃止と保険料不服申請の大運動を行おう
- ④高齢者の困難を解決するために、地域で加盟団体が共同して運動を行おうなど確認しました。

#### 2018年度神奈川県高齢期運動連絡会 代表委員・事務局長・事務局次長

役職氏名再・新	加盟団体名
代表委員 杉沢 隆宣 新	全日本年金者組合神奈川県本部
〃 原 弘明 再	神奈川県民主医療機関連合会
〃 仲野 和則 新	神奈川県建設労働組合連合会
事務局長 大河原 貞人 再	全日本年金者組合神奈川県本部
事務局次長 根本 隆 再	神奈川県社会保障推進協議会
〃 田中 久雄 新	全日本年金者組合神奈川県本部
〃 揚妻 幸男 再	神奈川県民主医療機関連合会
〃 村尾 育人 新	神奈川県建設労働組合連合会
〃 佐藤 長世 新	横浜市社会保障推進協議会

### 事務局だより

#### ◇お願い

- ・過日Faxにて「第32回日本高齢者大会in熱海」参加人数ご連絡のお願いをお送りしております。  
ご協力くださいますようお願いいたします。（3/20までにお送りください）

#### ◇お知らせ

- ・第32回日本高齢者大会in熱海 中央実行委員会第2回総会ならびに  
日本高齢期運動連絡会総会開催のお知らせ

日時：2018年5月19日（土）午前11時から午後4時（予定）

場所：東京都生協連会館会議室

中野区中央5-41-18

ご予約くださいますようお願いいたします。